

季節別さんびか選曲案

(クリスマス・イースター・ペンテコステなどの祝祭日のさんびかを除く)

【春】

- ・ 87 くさのめきのめが
イースターのさんびか。春の息吹を感じる歌詞がすてきです。
- ・ 94 ふしぎなぜが
ペンテコステのさんびか。初夏のびゅうっと吹いて来る爽やかな風を感じる曲。
- ・ 106 どんどこどんどこ
新しいお友だちと、一緒に遊びに行こうという感じのする元気な曲。
- ・ 110 ぱらぱらおちる
春夏秋冬歌えますが、梅雨時期に歌うとしっとりとした雨を感じられます。

【夏】

- ・ 54 ガリラヤのかぜかおるおかで
梅雨が終わり、初夏の爽やかな風を感じながら歌うと、イエス様が育った村のことをイメージしやすくなります。(※注 ガリラヤに梅雨はありません)
- ・ 109 ロケットにのって
夏には、花火を見たり夜空を見上げる子どもたちも多いので、この曲も良いです。
- ・ 113 こすずめも、くじらも
夏に海に遊びに行く子どもたちも多いので、くじらが出てくる曲も良いですね。
- ・ 140 みんなでへいわを
夏は、「平和を求める」季節でもあります。皆で平和を求めて歌いましょう。

【秋】

- ・ 9 めぐみうけて
収穫の秋。作物だけでなく、子どもたちも元気に育つように祈りましょう。
- ・ 56 むぎのたねまきます
秋は、作物が育っていく様子を身近に感じる季節です。作物だけでなく、自分の中に蒔かれた種にも、目を向けてみましょう。
- ・ 101 はたけにおやさい
- ・ 102 わたしたちのたべるもの
- ・ 103 ひとをはたけをよくたがやし
101番～103番は、収穫感謝の賛美歌です。私たちに与えられた作物が、どこから来たのかも考えながら歌えると、理解が深まってきます。

【冬】

- ・ 2 きょうはひかりが
いつでも歌える曲ですが、新年を迎えた最初の礼拝では、「初日の出」の話を合わせてイメージできます。
- ・ 99 ふるいものはみな
新年のさんびか。お正月の歌も良いですが、新年のさんびかもぜひ。
- ・ 135 きゅうこんのなかには
寒い冬の間も、ちゃんと神様のお守りの中にあることを伝えられれば良いですね。

時間別さんびか選曲案

【朝】

- ・ 2 きょうはひかりが
- ・ 3 うれしいあさよ
- ・ 7 イエスさま きょうもわたしを
- ・ 11 あかるいひかりを
- ・ 52 しゅイエスは でしたちを
- ・ 97 うつくしいあさも
- ・ 105 きょうもみんなに
- ・ 127 あさひうけて

朝日をうけて「これからいっぱい遊ぶぞ」という元気がもらえるさんびかを選びました。

【昼】

- ・ 21 にひきのさかなと
- ・ 22 キリストがわけられた
- ・ 39 みよ、しゅのかぞくが
- ・ 51 おなかのすいたイエスさまに
- ・ 106 どんどこどんどこ
- ・ 128 うえているひとと
- ・ 136 めぐみのかみさま
- ・ 137 かみさまにかんしゃ

お昼ご飯や給食の前に歌えるさんびかを中心に選びました。

【夕方】

- ・ 34 キリストのへいわ
- ・ 35 みことばいもうけ
- ・ 36 いまでかけよう
- ・ 37 さようならグッバイ
- ・ 40 かみさまのあいは
- ・ 54 ガリラヤのかぜかおるおかで
- ・ 129 どんなときでも
- ・ 131 かなしいことがあっても

夕方、皆がお家に帰っていく前に歌えるさんびかを選びました。

【夜】

- ・ 33 サント サント サント
- ・ 45 たびにつかれて
- ・ 47 ちいさいこどもの
- ・ 55 ちいさいひつじが
- ・ 98 つきはそらから
- ・ 109 ロケットにのって
- ・ 121 ひかりのこになるため

あまり夜にさんびかを歌うことはないかもしれませんが、お泊り保育や夏のキャンプの時などにぜひ歌ってみてください。